

根羽村『水循環・資源循環のみち2022』構想

令和4年度策定

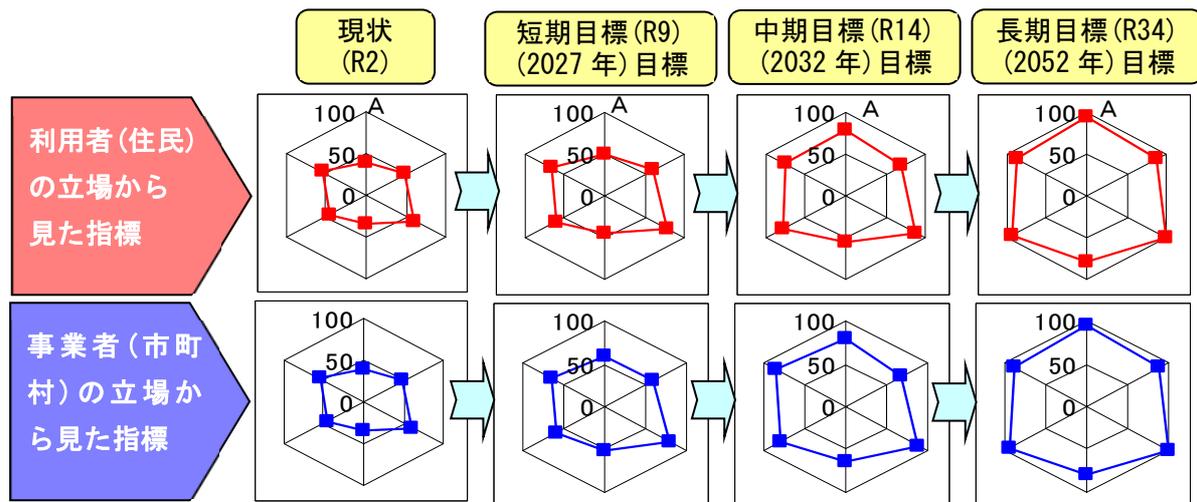
根羽村は、長野県最南端にあり愛知県・岐阜県に接しています。周囲は1,000mから1,400m級の山に囲まれた自然環境に恵まれた村で、三河湾に流入する一級河川矢作川の最上流に位置し、下流域へ生活・工業用水を供給する水源地となっています。

この自然・水環境を後世に残すため、平成8年から生活排水対策（小規模、農集排、浄化槽）を進めてきましたが、人口減少や高齢化の進展など社会情勢の変化への対応が求められています。また、生活排水施設は、機能の維持や利用者である住民の皆様の利便性や快適性を持続していくため、適切な維持管理のもと運営を行っていく必要があります。

このため、2010年から50年先を見据えた経営計画に基づき、処理場の管理、汚泥処理の集約化、維持管理の効率化等を検討し、生活排水施設の持続的な運営と良好な水と資源の循環を目指すため、令和4年度に、従来の構想を見直して、30年後までの生活排水対策の構想である根羽村「水循環・資源循環のみち2022」を策定しました。

わが村の指標と目標

根羽村では、構想の長期目標年度である30年後の令和34年度に向けて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者から見た指標として、県下の統一指標のほか、当村の現状を把握した上で、オリジナル指標を設定し、短期、中期、長期の目標を以下のとおり設定しました。



■利用者（住民）の立場から見た指標 ※指標の数値はR2→R9→R14→R34を表す。

(1) 暮らしの快適さと安全を表す評価項目

A 快適生活率(%)：93.2→94.2→95.1→98.1 【県下統一指標】

※行政人口に対する下水道等接続人口の割合です。

① 個別処理区域内の普及率(%)：89.0→89.2→89.5→91.2

※浄化槽設置率の向上を目指します。

(2) 環境への配慮を表す評価項目

B 環境改善指数(%)：42.0→69.0→81.0→100.0 【県下統一指標】

※身近な河川等の水質環境の把握や住民への「見える化」を表します。

② 浄化槽清掃実施率：54.9→80.8→83.0→90.0

※浄化槽法に基づく年1回の浄化槽清掃実施状況を表します。

(3) 生活との関連性を表す評価項目

C 情報公開実施指数(%)：67.8→74.4→88.9→100.0 【県下統一指標】

※生活排水に係る経営計画や仕組み等の情報公開の達成率です。

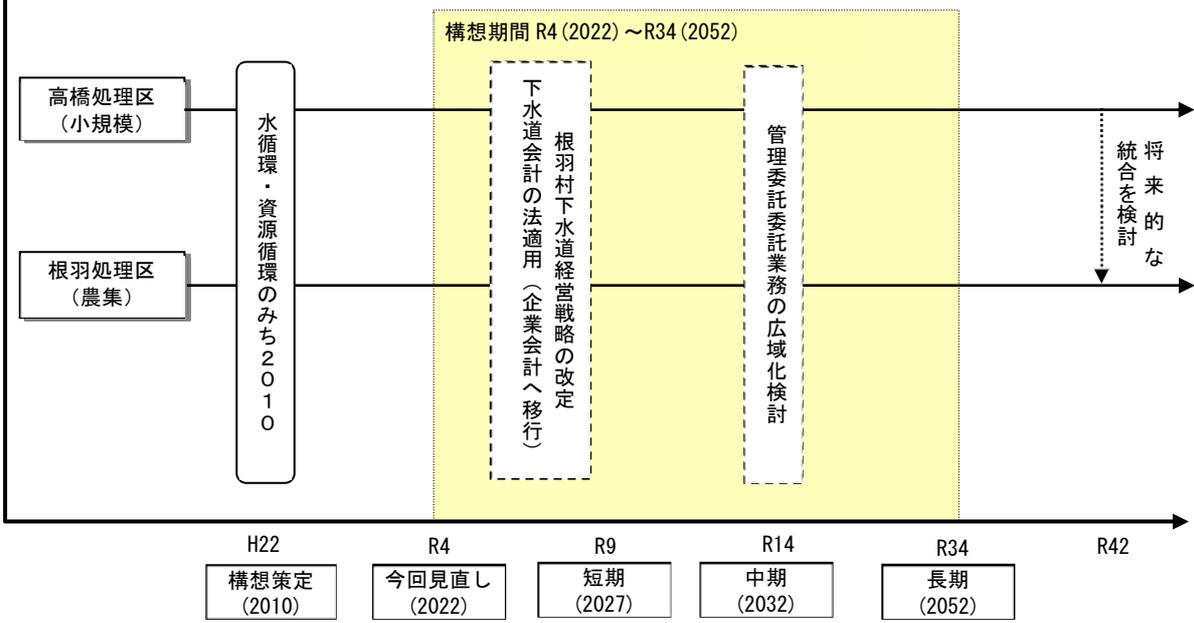
③ 環境学習実施率：100.0→100.0→100.0→100.0

※小中学校において生活排水・水環境に関する学習を行っている状況を表します。

- 事業者（市町村）の立場から見た指標
- (1) 事業の達成度を表す評価項目
- D 汚水処理人口普及率(%)：93.2→94.2→95.1→98.1 【県下統一指標】
※行政人口に対する汚水処理人口の割合です。
 - ④ 維持管理費賄い率(%)：52.0→58.0→60.0→65.0
※使用料で維持管理費（資本費除く）がどれだけ賄えているかを表します。
- (2) 環境への貢献を表す評価項目
- E バイオマス利活用率(%)：46.8→53.7→61.7→85.3 【県下統一指標】
※発生した乾燥汚泥に対してどれだけ再利用できているかを表します。
 - ⑤ 水質保全貢献度：99.3→99.5→100.0→100.0
※流入水質に対する放流水の水質状況を表します。
- (3) 経営改善の状況を表す評価項目
- F 経営健全度(%)：60.0→66.0→74.0→100.0 【県下統一指標】
経営が健全に行われているかを表します。
 - ⑥ 一般会計繰入率：33.7→45.5→45.5→47.7
※維持管理費（資本費含む）に対する一般会計からの繰入金割合を表します。

施設計画のタイムスケジュール

根羽村では、経営計画に基づき構想の具現化及び目標達成のため、短期、中期、長期及び超長期にわたっての施設計画等のタイムスケジュールを以下のとおりとしています。



住民参画への取組

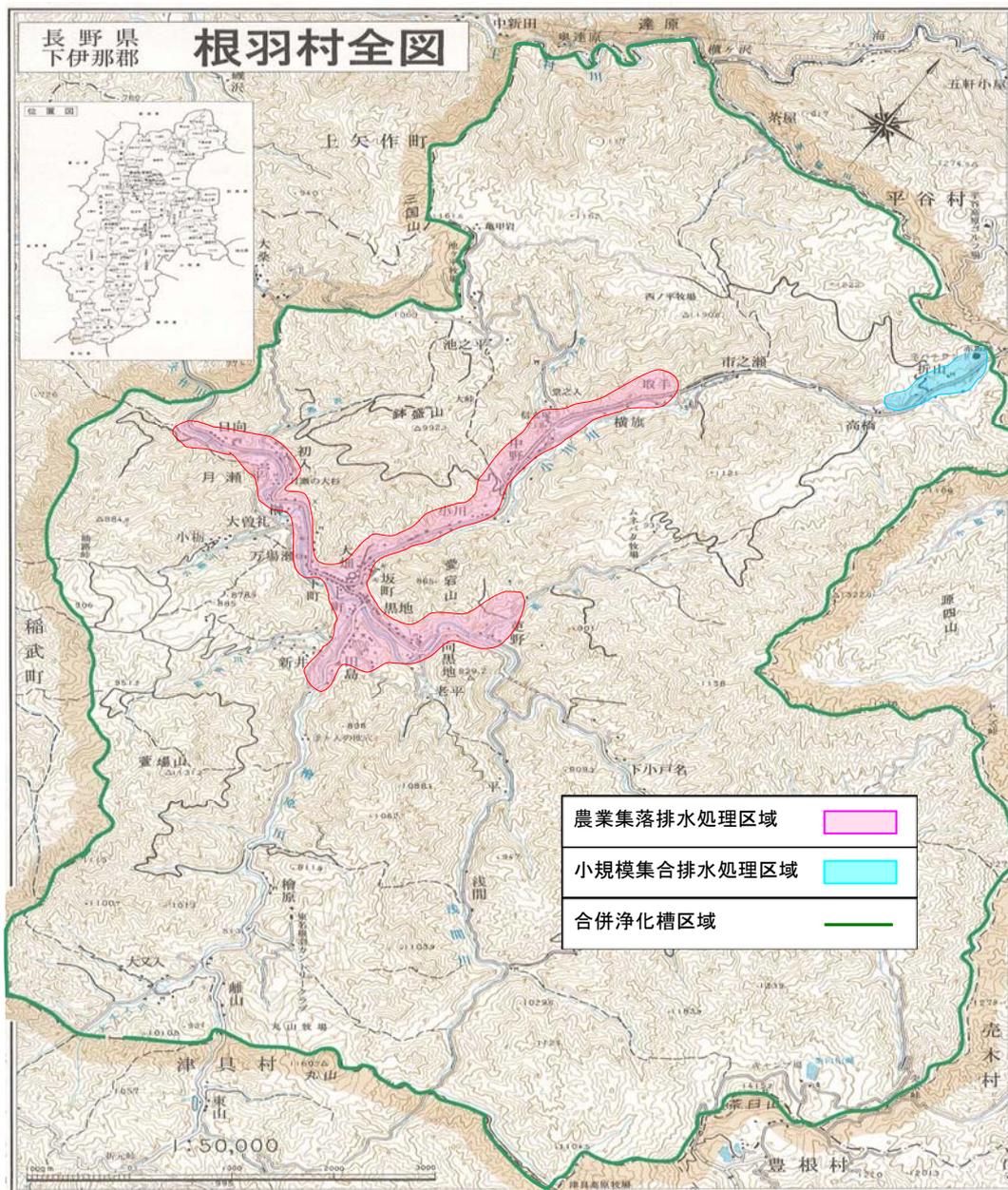
村の広報、CATV及びインターネット等使用し、利用者へ分かりやすい事業説明と経営状況の情報を公開してきました。将来的に使用料の増額や広域化などを進める場合には、今後も引き続き住民参画の推進を図ります。

根羽村『生活排水エリアマップ2022』

令和4年度策定

根羽村の生活排水施設整備は、平成8年から農業集落排水事業を導入し、エリアマップを基本とし、適宜状況の変化に対応した見直しを行い、整備が進んできました。生活排水エリアマップ2022では、持続可能な生活排水施設の観点から経営計画を長期にわたって検討した上で、施設配置や統合などを含め将来のマップを作成しました。（なお、詳細図については、別添図を参照）

生活排水エリアマップ2022（概要図）



- 30年後には今の人口の半分、420人まで人口が減少する事が想定されます。各処理場の能力や費用対効果を総合的に踏まえて検討する必要があります。
- 農業集落排水事業エリア以外については当面合併浄化槽整備事業で水洗化の整備を実施します。

アクションプランへの取組

(1) 未普及地域への取組

- 農業集落排水事業による施設整備は既に完了しています。
- 農業集落排水事業エリア以外については、合併処理浄化槽整備事業で水洗化を推進します。

(2) 浄化槽整備に関する取組

- 農業集落排水事業エリア以外については、合併処理浄化槽整備事業にて水洗化を推進します。
- 浄化槽の早期設置について戸別調査をし、また広報等を利用して呼びかけます。
- 農業集落排水事業エリアと住民の負担割合が同額になるように調整済みです。

生活排水施設の統合について

30年後には今の人口の半分、420人まで人口が減少する事が想定されます。それに対して処理場の計画処理人口については根羽処理場が1,880人、高橋処理場が540人と過剰設備になること、また人口減による使用料の減少が見込まれるため、処理施設の統合について検討していきます。

処理施設の統合コストと統合による維持管理費の削減を比較しながら総合的に検討していきます。

防災・減災対策への取組

- 根羽村地域防災計画により対応します。
- 農業集落排水事業業務維持計画（BCP）の策定を図ります。

根羽村『バイオマス利活用プラン2022』

令和4年度策定

根羽村の生活排水施設系から発生する汚泥（バイオマス）は、愛知県の設楽町、東栄町、豊根村の2町2村が広域化を推進し北設広域事務組合として処理をしています。

このため、「バイオマス利活用プラン2022」では、北設広域事務組合で集約化し、経費節減を図っていくとともに、周辺市町村と共同しバイオマスの利活用、地産地消を目指すこととしています。

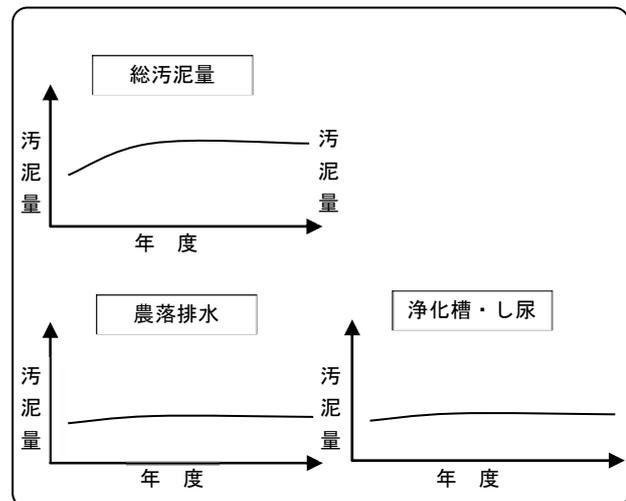
根羽村におけるバイオマス利活用プラン

- ・ 最終処分は愛知県にある田口クリーンセンターにて処理をし、そこから発生するし渣を焼却後、滝入最終処分場で処分し、汚泥は脱水・乾燥後、堆肥化しています。
- ・ 処分費のコスト高と、現状での受入れがいつまで可能かが課題です。
- ・ 当面現状のまま処理を行います。
- ・ 農集排の汚泥をバキュームカーにてし尿処理施設田口クリーンセンターに運搬し、脱水・乾燥後、堆肥化しています。
- ・ 村内で発生する生ごみについて自己処理できない可燃ごみとしてパッカー車にて収集し、中田クリーンセンターにて処理しています。

「根羽村」バイオマス発生量予測

総汚泥量は農集排・合併処理浄化槽の接続により増加します。

農集排・合併処理浄化槽の汚泥は接続率の向上により増加後、横ばいとなります。



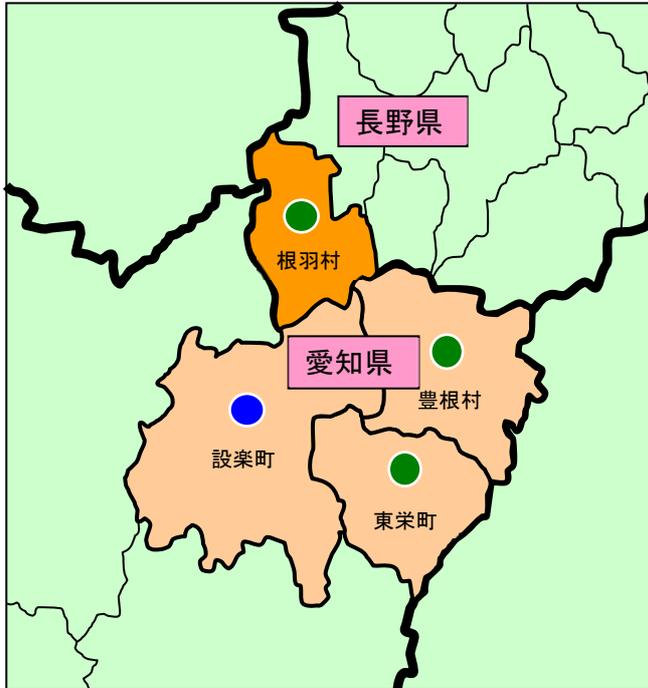
「根羽村」バイオマス利活用プラン

- 【短期】
 - ・ 現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・ 脱水・乾燥後堆肥化
- 【中期】
 - ・ 現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・ 脱水・乾燥後堆肥化
- 【長期】
 - ・ 現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・ 脱水・乾燥後堆肥化

根羽村の広域的なバイオマス利活用プラン

「北設広域事務組合」バイオマス利活用プランマップ

北設広域事務組合



- バイオマスの広域的処理について
- ・愛知県の設楽町、東栄町、豊根村、長野県の根羽村の2町2村
- ・長期的に検討

- バイオマスの利活用について
- ・資源、エネルギーとしての再利用
- ・地球温暖化対策の推進

■北設広域事務組合のプラン

- 【短期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【中期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化
- 【長期】
 - ・現状による汚泥処分（農集排・合併処理浄化槽）
 - ・脱水・乾燥後堆肥化

根羽村『経営プラン2022』

令和4年度策定

根羽村では、平成8年から農集排水事業を導入し供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入の他、一般会計からの繰入れにより賄われています。
 このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があります。50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の20年後までにできる改善計画を検討し、「経営プラン2022」を策定しました。

■経営計画

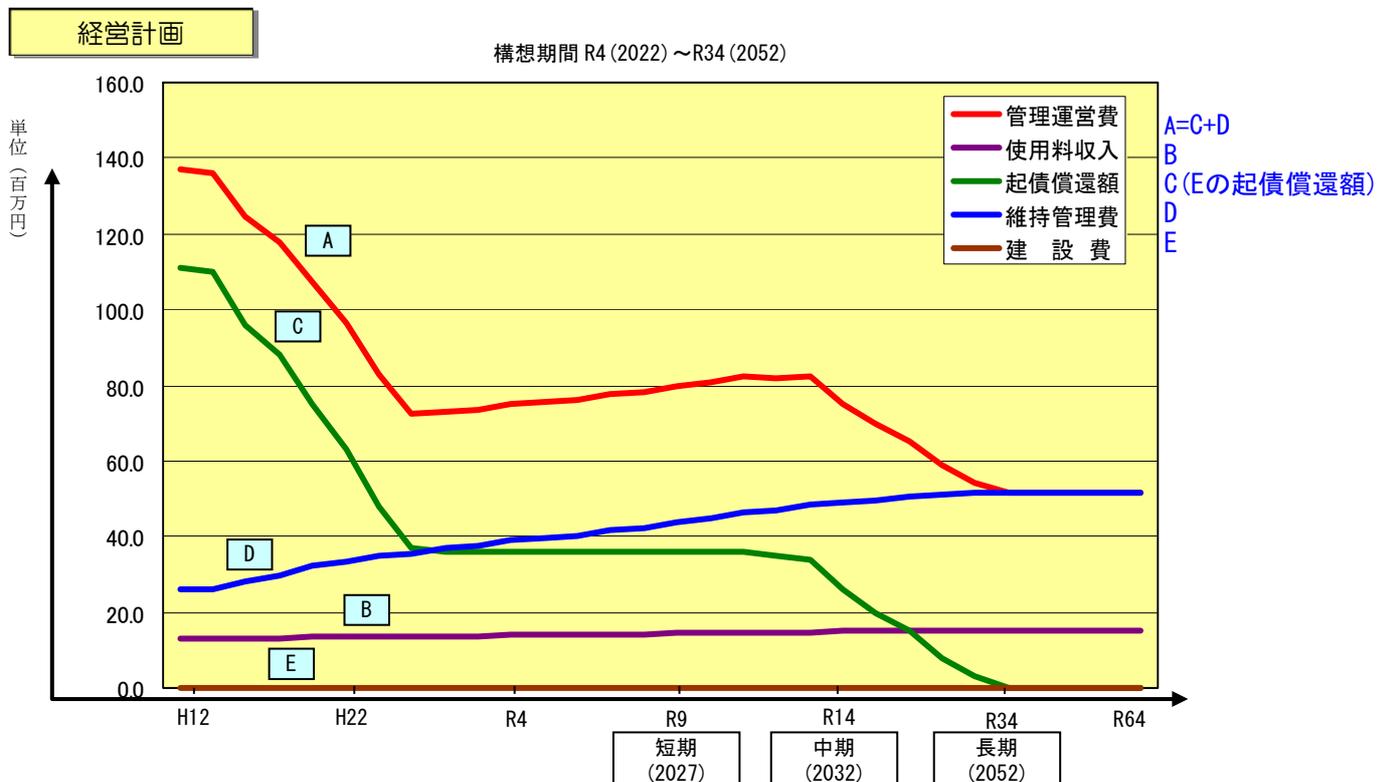
- ・農業集落排水事業
- ・使用料収入で維持管理費、一般管理費の一部を賄っている、起債元利償還金、一般管理費について一般会計繰入金にて賄っています。
- ・人口の自然減により使用料収入は減る見込みです。
- ・起債償還のピークは過ぎています。
- ・コスト縮減に努め使用料値上げを実施し、安定した経営にします。

■管理経営の方法

- ・現在の2箇所の処理場の維持管理委託を発注しています。
- ・広域的な維持管理業務の委託方法の検討と実施

■浄化槽管理の方法

- ・個人管理にて適正な維持管理をお願いしています。
- ・維持管理費は、根羽村合併処理浄化槽維持管理費補助金交付要綱により、条件等を満たしていれば補助をしています。

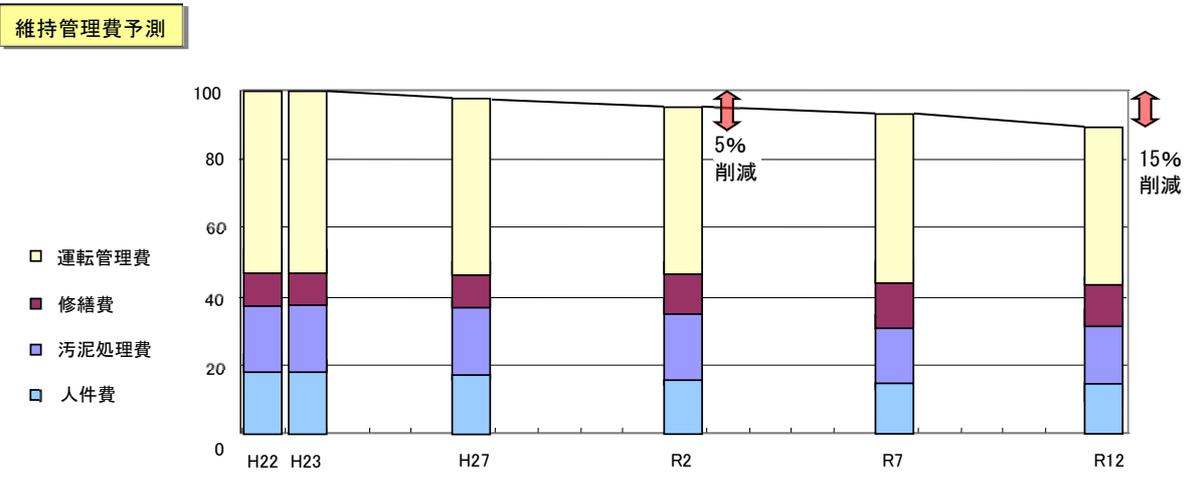
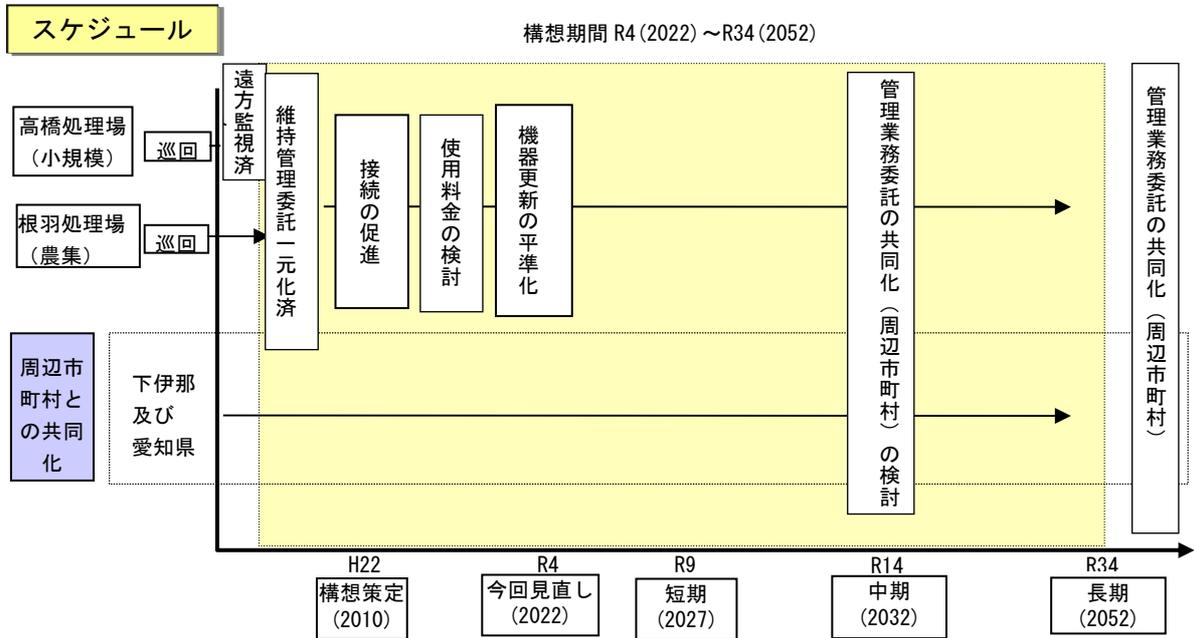


広域化による管理経営

- 【短期】 広域的な維持管理について検討
- 【中期】 広域的な維持管理について検討
- 【長期】 広域的な維持管理について実施

経営基盤の向上対策

- ・現状の把握
- ・使用料の適正化への取組
- ・各戸調査により加入促進を実施
- ・経営の明確化への取組



現状把握と効果検証

■根羽村「水循環・資源循環のみち2015」構想の見直しに当たり、事業者が構想における現状把握と効果検証を行いました。その結果は次のとおりです。
また、その結果を基に今回見直しを行いました。

指標	現状把握 (令和2年度末現在)		検証結果	見直し方針
	計画	実績		
A 快適生活率 (%)	92.4	93.2	目標に達しました。	当初目標どおり進めます。
① 個別処理区域内の普及率 (%)	100	89.0	目標には達しませんでした。	浄化槽設置事業を推進し、目標達成を目指します。
B 環境改善指数	75.0	66.0	目標には達しませんでした。	当初目標どおり進めます。
② 環境改善共感度率 (%)	100	100	100%となりました。	指標を「浄化槽清掃実施率 (%)」に変更。浄化槽の適正管理を促進します。
C 情報公開実施指数	66.7	67.8	目標に達しました。	当初目標どおり進めます。
③ 環境学習率 (%)	100	100	100%となりました。	今後も目標を達成できるよう努めていきます。
D 汚水処理人口普及率 (%)	98.0	97.3	ほぼ目標どおり進んでいます。	当初目標どおり進めます。
④ 全村水洗化率 (%)	95.0	93.2	目標には達しませんでした。	指標を「維持管理費賄い率 (%)」に変更。適正な維持管理状況を確認していきます。
E バイオマス利活用率 (%)	100	46.8	目標には達しませんでした。	利用施設が変更しました。現状の利活用体制を把握した上で目標を設定します。
⑤ 浄化槽法定検査受検率 (%)	100	93.5	目標には達しませんでした。	指標を「水質保全貢献率 (%)」に変更。水質の保持及び改善に努めます。
F 経営健全度	93.0	60.0	目標には達しませんでした。	現状の経営状況把握をした上で目標を設定します。
⑥ 維持管理費回収率 (%)	100	51.0	目標を大きく下回りました。	指標を「一般会計繰入率 (%)」に変更。事業の健全化に努めます。

